

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～23℃台を示し、平年並み～やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の5.5倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり1kgの水揚げで、前週の17%。壱岐勝本地区では1日当たり99kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり32kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では1日当たり73kgの水揚げで、前週の7倍（前年を上回った）。
- 定置網——五島有川地区では、カンパチなどが1日1統当たり283kgの水揚げ。五島魚目地区では、カンパチなどが1日1統当たり447kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり150kgの水揚げ。対馬東岸地区では、マアジなどが1日1統当たり199kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり443kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/10～11/15の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北沖で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬～浜田沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第3-32号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>